

【9/13赤いか速報】ソデイカ漁期前試験操業の結果等

令和3年9月10日（金）に鳥取県漁協賀露支所の隠岐谷丸、林風丸に御協力いただき、赤いかの試験操業を行いました。結果は3.5時間で6尾でした。

試験操業は、東経134°09'のライン（水深135～220m）で行いました。赤イカは、いずれも水深180m以深の水深帯で漁獲されており、水深180mより沖合での操業をお勧めします。

ただ、フグに漁具をかじられて破損することが多いので、操業時には気をつけてください。兵庫県但馬水産技術センターの調査でも同様の事例が報告されています。

●漁況予測●

8月の長尾鼻地先水深185m地点における100m深の海水温と赤いか漁獲量との相関関係から赤いかの漁況の予測を行ってます。7月26日時点で同調査点の水温は17.2℃と平年より高めの水温となっており、予想される漁獲量は「**直近5年平均程度**」の見込みです。

ただ、赤いかの主産卵場である沖縄県の4,5月の漁獲物組成は、産卵サイズ以下の小型主体であることから、そもそもの**来遊量が少ない**のではと危惧しています。

【その他のソデイカ情報】

兵庫県但馬水産技術センターHP「漁況情報：沿岸いか釣り漁場探索調査の結果」より、以下の情報が公開されています。

※沿岸いか釣り釣獲試験 令和3年9月7日：**釣獲尾数0尾**

調査は、134°30'（水深129～207m）、134°40'（水深125～166m）の2ラインで実施。